

■ みのわ未来委員会提言

みのわ未来委員会から、第5次振興計画の推進と今後のまちづくりについて、町へ提言書が提出されました。

箕輪町は、2010年以降、出生数が死亡数を下回る自然減の状態が続いていることから**本格的な人口減少時代**を迎えています。将来人口推計によれば2025年には、24,100人程度になり、現在より1,500人ほど減少すると見込まれています。

少子高齢化も進展しており、特に合計特殊出生率は、2008年から2012年は日本全体で上昇に転じたのに対し、箕輪町は下降を続けました。

人口減少及び少子高齢化が進む新たな時代に対し、町の将来像である「みんなが創る、未来につながる、暮らしやすい箕輪町」の実現に向け、**町民自ら参加**して、まちづくりに取り組む必要があります。

これからは人口減少等の影響で厳しい財政状況等が予想されます。様々な課題があるなか、町には、行財政改革を強力に進め、歳出の削減を図るとともに**新しい時代に即した行政運営**を進めることを望みます。一方で、将来の暮らしやすさを守るため、町と町民が一体となって、必要な人口規模の維持に向けた**まちづくりに挑戦**したいと感じています。（“箕輪チャレンジ”）

“箕輪チャレンジ”を具現化するには、「みんなで創る」ことが必要です。町民自らが町をピーアールしたり、町民がセールスマンとなってまちづくりに参加するなどの体制が理想です。

そのために町は、町民が町の状況を把握出来るような**情報を提供**してください。そうすれば町民自らでまちづくりを考え、行動するきっかけとなります。

次に町は、まちづくりの課題等を**多くの町民が共有**できる交流の場を設けてください。このような場が出来れば様々な人々との交流が生まれ、課題への関心が高まり、町民の考えをまちづくりに反映することも可能です。

以上のような過程を経れば、町民が自ら、まちづくりに参加するようになり、**住民目線を含んだ政策形成**につながると思います。

みのわ未来委員会は、これまで町の課題を認識し将来のまちづくりを考えてきました。その結果、この**町が大好き**であることに改めて気付きました。そして、町民もまちづくりの一員となって出来ることをやらなくてはいけないと感じています。

いつまでも大好きな箕輪町であるため、第5次振興計画にある町の将来像「みんなが創る、未来につながる、暮らしやすい箕輪町」の実現に向けて、**町民とともに歩むまちづくり**の推進を希望します。

平成28年（2016年）1月21日
みのわ未来委員会

箕輪町第 5 次振興計画 後期計画

発行 / 箕輪町

〒399-4695 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 10298 番地

TEL 0265-79-3111 (代)

編集 / 箕輪町役場企画振興課

製作 / 株式会社ワイド

